

全館入場者数	開館日数
182,006人	307日

ア 美術館の管理運営

1 管理

(1)施設管理 【ハード】

種別	内容	件数
ホームギャラリー	開架書籍の整理・問い合わせへの対応(レファレンス)	通年
子育てひろば	子育てひろばの運営協力	通年
花壇(正面玄関外)	苗の植え替え、明後日朝顔プロジェクト等	通年
施設貸出(予約・設備準備・支払等) ※収益事業再掲	アートロフト	207件
	会議研修室	303件
施設・設備の管理、点検、修繕等(セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等)	設備修繕	12件

(2)施設管理 【ソフト】

種別	内容	件数
来館者サービス	・来館者対応・警備、電話・メール等への問い合わせ対応 ・朝礼(毎日)、職員ミーティング(週1)、館内スタッフミーティング等による情報共有(月1) ・入場者・入場料管理	通年
ニーズ調査	アンケート実施・集計・回答等	731件
新型コロナウイルス感染拡大防止対策	昨年度に引き続き定期的に館内を消毒	通年

(3)施設管理 【美術館IPM】

種別	内容	件数
ミュージアムIPM	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置モニタリング ・収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング(掃除機、ドライワイパー使用) ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室(GⅠ、GⅡ)の展示期間中のデジタルロガー計測 ・館内の飲食についてのマニュアル作成	通年

2 運営

(1)外部審議会・課題解決ミーティング

種別	内容	開催日
外部審議会	実施なし	
課題解決ミーティング	財団職員を3グループに分け、①「刺さる」鑑賞体験の研究、②フリーゾーンの入場者増、③持続可能な組織となるための体質改善をテーマに各グループで年間を通して検討や提案・改善等を行った。	7月10日、9月18日、 11月13日、1月29日、 3月12日、3月26日 ※全体・とりまとめのみ、 個別は別途実施

(2)職員研修

種別	主催	内容	開催日	受講者
熊本城顕彰会定時評議員会	一般財団法人 熊本城顕彰会	熊本城址の保存を目的とした市民・県民による顕彰会の定例会議	6月23日、3月11日	松石龍太郎 (理事長)
AED講習	株式会社熊日会館	AEDの使い方や胸骨圧迫の仕方など	7月8日	杉谷和泉・松本芳典 (管理班)
文化財IPMコーディネータ研修	公益財団法人 文化財虫菌害研究所	文化財IPMコーディネータ資格更新のための研修	7月8日	富澤治子 (学芸班)
インスタグラム基礎セミナー	熊本市	インスタグラムを活用した広報研修	8月8日	穴瀬聖 (学芸班)
公益法人制度改正セミナー	株式会社サクセス	公益法人会計基準見直しの内容について	8月21日	岡田直幸・中村美友 (会計班)
給与計算システムセミナー	満喜株式会社	給与計算等の制度改正対応に伴うセミナー	8月21日	松本芳典 (管理班)
情報セキュリティ研修	一般財団法人 熊本市文化スポーツ財団	熊本市の外郭団体を対象とした研修	10月8日、9日	横田健一(事務局長) 松成正浩(副館長) 松本芳典(管理班)
年末調整の仕方	一般財団法人 勤労者福祉サービスセンター	令和7年の税制改正に伴う年末調整のポイント	11月19日	中川裕美 (管理班)
熊本市外郭団体合同研修会	一般財団法人 熊本国際観光コンベンション協会	人権(犯罪被害者支援・性暴力被害)	12月2日 12月11日	横田健一(事務局長) 杉谷和泉(管理班)
IPM講習会	公益財団法人 文化財虫菌害研究所	IPMコーディネータ資格更新のための講習会	12月9日、10日	杉谷和泉 (管理班)
人権研修	一般財団法人 熊本市文化スポーツ財団	熊本市の外郭団体を対象とした研修	12月11日	松石龍太郎(理事長) 横田健一(事務局長)
ライフ&キャリアデザイン研修	熊本市	熊本市職員を対象としたワークライフバランス研修	1月16日	松成正浩 (副館長)
「アートコンダクター」養成講座(初級)	一般社団法人 アーツアライブ	認知症当事者を対象とした美術作品鑑賞会のファシリテーター養成講座	2月7日、8日	岩崎美千子 (学芸班)
漱石文化みらい会議	漱石文化みらい会議くまもと実行委員会	夏目漱石来熊130年と没後110年、翌27年の生誕160年の記念年に向けた事業を推進する、産学官民会議	2月25日	横田健一 (事務局長)
第11回保存環境調査・管理に関する講習会	独立行政法人 国立文化財機構	ニューハクシミの現状と対策について(オンライン)	3月9日	杉谷和泉 (管理班)

イ サービス・交流

1 広報

種別	内容
美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等(レンタルサーバ含む) 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
SNSによる情報発信	美術館の出来事をリアルタイム・広範囲に発信・拡散 ・X(旧Twitter):@camk_kumamoto ・Facebook:熊本市現代美術館 ・Instagram:camk_kumamoto ・Youtube:熊本市現代美術館
メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演、エフエム791(週1回レギュラー)
市政だより、市LINE等	記事提供

2 ボランティア

(1) ボランティア活動

種別	内容	人数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	40人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	20人
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	20人
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	64人
読みがたり	絵本や紙芝居などの読みがたり	24人
合計		168人

(2) ボランティア研修等

種別	内容	人数
新規ボランティア研修①	第24期ボランティア希望者への研修	4人
新規ボランティア研修②	第24期ボランティア希望者への研修	10人
新規ボランティア研修(個別)	第24期ボランティア希望者への研修	1人
合計		15人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種別	内容	開催日	人数
定期映画上映会	月曜ロードショー 毎週月曜の14時-、17時-の2回 上映権付の映画上映	47回／年	2854人
合計			2,854人

(2) 音楽イベント

種別	内容	開催日	人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施する 当館のピアノボランティアによるピアノ演奏	147回／年	147人
合計			147人

(3) 子ども向けのイベント

種別	内容		開催日	人数
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など		4月26日、5月17日 6月6日、6月28日 7月19日、8月23日 9月20日、10月25日 11月15日、12月13日 1月24日、2月28日 3月28日	314人
子育てひろば ワークショップ	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら、親子のスキンシップを楽しむ。	4月17日	18人
	ふれあい遊び	絵本や手遊び歌を通して、親子間のコミュニケーションを深める。	5月22日	26人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	6月13日	20人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	6月20日	24人
	親子で楽しむリトミック	音楽や楽器、ふれあい遊びを通して、親子のコミュニケーションを深める。	7月18日	28人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	8月22日	22人
	親子で陶芸 手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	8月29日	28人
	絵の具で描くトートバッグづくり	自由に描くアート体験を通して、興味や創造を色や形にする。	9月18日	20人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら、親子のスキンシップを楽しむ。	10月16日	21人
	絵の具で描くトートバッグづくり	自由に描くアート体験を通して、興味や創造を色や形にする。	11月20日	21人
	親子で作るフォトフレーム	親子で協力して工作を楽しむ	12月18日	20人
	親子で楽しむリトミック	音楽や楽器、ふれあい遊びを通して、親子のコミュニケーションを深める。	1月23日	26人
	親子ふれあいヨガ	親子でヨガをして、リフレッシュするワークショップ。	2月19日	27人
	英語であそぼう	ダンスや楽器を通して、英語でのコミュニケーションにふれる。	2月19日	23人
合計				638人

(4)アートラボマーケットでのイベント

※人数欄の「―」は展示や常設イベントのためカウントなし

タイトル	講師	内容	開催日	人数
[AC]イースターエッグ・ワークショップ	熊本市ALT教員+担当学芸員	キリスト教の春の祭り「イースター(復活祭)」を学び、イースターエッグを作るワークショップ。熊本市のALTとともに、英語活動・異文化交流としても行った。	4月19日	17人
[AC]ショップオリジナルステッカー	ミュージアムショップ	当館とつながりの深い熊本出身のアーティストとのコラボレーションにより、当館のオリジナルステッカーを制作・販売。	7月-継続中	―
[WT]七夕の短冊に願いを書こう	美術館スタッフ	短冊に願いを書いて、ALMの笹に飾るワークショップ。	6月23日-7月7日	―
[MW]ツキノシッポ作品展 わづかの光の光錯	ツキノシッポ(アーティスト)	水彩や銅版画による作品を制作するツキノシッポさんによる作品展(展示販売)	7月4日-31日	―
[MW]おいしいアート～食をめぐる5人のアーティスト	アラキケンジ、澤村武山、わたなべみきこ、森澤嘉幸、Ciao! Bellina!、(アーティスト)	5人の作家による食べ物をテーマにした作品の展示販売。	8月2日-31日	―
[AC]夏休みワークショップ 和菓子とお菓子のマスコットをつくろう	bamboo&ciao(ドール作家)	ドール作家のbamboo&ciaoによる和菓子とお菓子のマスコットづくりワークショップ。	8月17日	13人
[MW]ペドロ山下アートプロジェクト	ペドロ山下(グラフィックデザイン)、麻生翼(肥後象嵌)、藤本修悟(鬼瓦製作)	手がける素材や手法がまったく異なるペドロ塾メンバー3人の展示販売。	9月3日-28日	―
[MW]澤村武山デイリーワークス	澤村武山(アーティスト)	風景画を展示・販売。会期中週末に作家が在廊し、静物画のデッサン会を行った。	10月1日-30日	―
[WT]しおりをつくらう	美術館スタッフ	厚紙や布を素材にオリジナルしおりをつくるALM常設ワークショップ。	10月9日-15日	―
[AC]画用紙でランタンを作ってみよう～ヨーロッパの秋のお祭り「聖マルティンの日」にちなんで～	熊本市ALT教員+担当学芸員	熊本市のALTと共同で行うワークショップ。各国のランタンや聖マルティンの日のレクチャーを聞きながら、「聖マルティン祭」の日に子どもたちが作るランタンを制作する。	11月15日	11人
[MW]MIDOROソロ展示「デジタル造形と手彩色」	MIDORO(フィギュア造形師)	フィギュア造形師MIDOROによる作品の展示販売。	11月15日-30日	―
[MW]「立体を筆で塗る」アクリルガッシュ筆塗りワークショップ	MIDORO(フィギュア造形師)	フィギュア造形師MIDOROによるワークショップ。	11月23日	10人
[WT]アド カレンダーぬりえ	アド(アーティスト)	来年の干支「うま」のカレンダーに色を塗ったり飾ったりできるALM常設ワークショップ。	12月1日-28日	―
[WT]しまうちみか個展	しまうちみか(アーティスト)	しまうちみかの小さいサイズの作品を展示販売。	12月3日-1月12日	―
[WT]毛糸でクリスマス飾りと鏡もちをつくろう	美術館スタッフ	毛糸を使ってポンポンをつくり、クリスマス飾りや鏡もち飾りを作るALM常設ワークショップ。	12月15日-28日	―
[AC]境界をうらがえすリサーチプロジェクト	野村誠(作曲家)、武田力(演出家)、担当学芸員	熊本在留外国人が増える現代、実際に人と出会い、共にプロジェクトを作ることを目指す。それぞれ背景をもち、地域で暮らす人々が出会い、互いに学び合う美術館を目指す。	1月8日-10日 2月11日-13日	20人
[AC]境界をうらがえすリサーチプロジェクト アーティストトーク	野村誠(作曲家)、武田力(演出家)、担当学芸員	来年度から本格始動するリサーチプロジェクトの紹介と、アーティストの活動紹介、集まった人々と今の社会に対して感じていることをシェアする場を開くアーティストトーク	2月11日	6人
[WT]烏山秀直作品展	烏山秀直(アーティスト)	干潟の泥、近所の居酒屋で廃棄された貝殻、長崎爆心地の砂などから作られたオリジナルの絵の具でオーガンジーに描かれたドロ잉を展示・販売。	1月14日-2月1日	―
[MW]マツナガキュレーション ワンダーウォール 2026	松永拓己(熊本大学教授)	松永拓己(熊本大学教授)による熊本ゆかりの若いアーティスト達を育てる企画。約50名の作家の作品を展示・販売。	2月4日-26日	―
[MW]「小さな頭蓋骨の模型づくり」造形ワークショップ	MIDORO(フィギュア造形師)	造形初心者でも参加できる、頭蓋骨のミニチュアを作るワークショップ	2月11日	15人
[AC]受験生応援 自習室開放	美術館スタッフ	アートラボマーケット等で勉強を行う高校生等を応援するためのスペース開放	2月15日、21-23日	6人
[AC]シンガポールの旧正月を知ろう! パイナップルタルト・ワークショップ	熊本市ALT教員+担当学芸員	中国、台湾、シンガポール、マレーシアなどで祝日となる「旧正月」の伝統の祝い方や、縁起物パイナップルを使ったタルトを作るワークショップ。中国語・英語のミニ講座も。	2月23日	8人
[MW]Bright	ツーアウト(福祉グループ)、ヒロ・デザイン専門学校	障害のある人のデザインを生かしたテキスタイルを利用し、服飾を学ぶ専門学校生が様々な1点物のアイテムを制作して展示販売するもの	2月28日-3月8日	―
[AC]くるみボタン作りとデザイナー体験	ヒロ・デザイン専門学校	子どもから大人までモノづくりを楽しめる、ヒロ・デザイン専門学校の学生やスタッフによるワークショップ	2月28日、3月1日	60人
[MW]キノシタユースケ「津奈木からの片道書簡」	キノシタユースケ(アーティスト)	津奈木～水俣市をリサーチし採取した素材を用いて制作した作品や、そこで撮影した写真を用いたサイアノタイプなどを展示・販売	3月11日-29日	―
[AC]ゆるカフェ これが良いのだ	ツーアウト(福祉グループ)	認知症や障害のある人が接客を担当し、1日カフェを運営するイベント ※公3 -3(1)で再掲	3月16日	50人
合計				216人

(5)ホームギャラリーでのイベント

タイトル	講師	内容	開催日	人数
ブックカバーをつくろう	なし	布と布用両面テープを使い、文庫本サイズ・新書サイズのオリジナルブックカバーをつくる	10月9日-15日 2月2日-8日	173人
新しい古本0円市2025	美術館スタッフ	ホームギャラリーで開架してきた雑誌の一部を0円(無料)で売るイベント。会場で雑誌を受け取る際、「文字の等価交換」(山下陽光)として、「面白いこと」を1冊につき1つ書く。	10月10日、11日	—
ホームギャラリーで書籍浴・美術浴	なし	「森林浴」の様に、多くの書籍と美術作品に囲まれながらリラックスするひと時を過ごす	10月15日、12月17日 2月28日	17人
合計				190人

公益目的事業
公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業【令和7年度実績一覧】

ア 展覧会等
1 メインギャラリー(ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会)
(1)ギャラリーⅠ・Ⅱ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	第36回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。審査員:森村泰昌(美術家)出品点数:341点 ※エで再掲	4月1日-13日 (11日間) ※3月16日-3月31日 (14日間/前年度)	1,793人
	やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ	アンパンマンの生みの親・やなせたかしの人生と世界観を紐解く個展。朝ドラ開始のタイミングと合わせ、ひろく市民にアートや美術館に触れる機会を増やすことを念頭に開催した。出品点数275点。	4月26日-6月30日 (57日間)	57,367人
	関連小展示 熊本市現代美術館コレクションにみる 絵本と漫画とものがたりの秘密	収蔵作品から、やなせたかしと同じくマルチに活躍する絵本作家やマンガ家、小説家などの作品を紹介。出品点数20点。		
	和食 ～日本の自然、人々の知恵～	日本列島の自然や人々の知恵・歴史を背景に成立し、独自に発展してきた「和食」の魅力を多角的に紹介する展覧会。	7月19日-9月23日 (57日間) ※大雨による臨時休館: 8月11日	26,313人
	遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち	アートプロジェクト「赤崎水曜日郵便局」で知られる八代出身の映画監督・遠山昇司による、美術館の収蔵品から自身のプロジェクトや映画作品までを、「鳥」を切り口として、新たな視点で再構成する展覧会。	10月5日-12月14日 (61日間)	6,312人
	漫画家生活30周年 こうの史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、 走ってこけて、長い道のり	『夕凧の街 桜の国』(手塚治虫文化賞新生賞、文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞)、『この世界の片隅に』(文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞)等で知られる漫画家・こうの史代の全貌に迫る原画展。	1月4日-3月8日 (55日間)	6,335人
	第37回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。審査員:光島貴之(美術家)出品点数:204点 ※エで再掲	3月22日-3月31日 (8日間) ※4月1日-5日 (5日間/翌年度)	1,937人
合計				100,057人

2 小ギャラリー(ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー)における展覧会
(1)ギャラリーⅢ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	GⅢ-Vol.158 中村壮志展「溝漕、燦燦 Echoes」	熊本出身の美術家、映像作家 中村壮志の地元での初個展。民俗文化である「雨乞い太鼓」に着想を得て、サウンドとオブジェクトによる新作のインスタレーションを発表。	4月1日-6日 (5日間) ※1月25日-3月31日 (57日間/前年度)	294人
	GⅢ-Vol.159 米村知倫の仕事	熊本出身・大分在住のイラストレーター米村知倫の展覧会。これまでの仕事のアーカイブ、ドローイングや置物などの立体作品、家族とともに制作したZINEやグッズなど、様々な制作物を展示。	4月12日-6月22日 (62日間)	8,997人
	GⅢ-Vol.160 新収蔵作品展 New Acquisitions 2023-2024	2023-2024年度に収集した作品から抜粋して紹介する、新規収蔵作品展を開催。18点を展示。	6月27日-7月27日 (27日間)	3,347人
	GⅢ-Vol.161 酒井一吉 幽語の回路	長崎出身のアーティスト・酒井一吉の個展。戦後80年に、被爆三世の視座から「ナガサキ」について問題提起し、長崎市の《平和祈念像》の「手」を起点に、「語り」をめぐる制度や身体性をテーマとした新作を発表。	8月1日-10月19日 (68日間) ※大雨による臨時休館: 8月11日	7,449人
	GⅢ-Vol.162 しまうちみか 茫茫 / Mika Shimauchi BOU BOU	熊本出身、宮崎在住のアーティスト・しまうちみかの、南九州の来訪神行事をリサーチした新作・近作個展。造形や行事に自身の創作の根や、現代社会の価値を反転させる批評性を見出し、子どもと地域の関係の再創造を目指す実践も行った。	10月25日-1月12日 (67日間)	6,759人

	漫画家生活30周年 こうの史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、走ってこけて、長い道のり 関連企画 GⅢ-Vol.163 CAMKコレクション こうの史代セレクション	当館の収蔵作品から、ギャラリーⅠ・Ⅱで企画展を開催中の漫画家・こうの史代氏が気になった作品をセレクトした展覧会。	1月15日-3月15日 (52日間)	6,574人
	GⅢ-Vol.164 熊本地震と文化的処方 ー私の心が動きはじめるときー	熊本地震から10年となるのを機に、私たちが前を向くきっかけとなったモノ、コト、ヒトについて改めて振り返り、今年度からはじめた文化的処方の文脈から災害を乗り越えるヒントをさぐる展覧会	3月20日-3月31日 (10日間) ※4月1日-6月14日 (65日間／翌年度)	1,140人
合計				34,560人

(2)井手宣通記念ギャラリー

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	GⅢ-Vol.158 中村壮志展「漣、燦燦 Echoes」	熊本出身の美術家、映像作家 中村壮志の地元での初個展。民俗文化である「雨乞い太鼓」に着想を得て、サウンドとオブジェクトによる新作のインスタレーションを発表。	4月1日-6日 (5日間) ※1月25日-3月31日 (57日間／前年度)	294人
	GⅢ-Vol.159 米村知倫の仕事	熊本出身・大分在住のイラストレーター米村知倫の展覧会。これまでの仕事のアーカイブ、ドローイングや置物などの立体作品、家族とともに制作したZINEやグッズなど、様々な制作物を展示。	4月12日-6月22日 (62日間)	8,997人
	GⅢ-Vol.160 新収蔵作品展 New Acquisitions 2023-2024	2023-24年度に収集した作品から抜粋して紹介する、新規収蔵作品展を開催。18点を展示。	6月27日-7月27日 (27日間)	3,347人
	CAMKスクリーニングvol.3 永田康祐	長編あるいは特定作家の映像作品を鑑賞する機会を設けるためのシリーズ企画「CAMKスクリーニング」。永田康祐《Fire in Water》をループで上映。	8月1日-10月19日 (68日間) ※大雨による臨時休館： 8月11日	7,449人
	GⅢ-Vol.162 しまうちみか 茫茫 / Mika Shimauchi BOU BOU	熊本出身、宮崎在住のアーティスト・しまうちみかの、南九州の来訪神行事をリサーチした新作・近作個展。造形や行事に自身の創作の根や、現代社会の価値を反転させる批評性を見出し、子どもと地域の関係の再創造を目指す実践も行った。	10月25日-1月12日 (67日間)	6,759人
	Revisiting Shoen Yoh 葉祥栄再訪 熊本展	現代木造とコンピューショナルデザインのパイオニアとして国内外で再評価が進む建築家・葉祥栄。出身地熊本での活動を軸に、九州大学が保管する模型・図面等貴重な資料で紹介した。共催：九州大学葉祥栄アーカイブ。	1月18日-3月9日 (44日間)	6,023人
	GⅢ-Vol.164 熊本地震と文化的処方 ー私の心が動きはじめるときー	熊本地震から10年となるのを機に、私たちが前を向くきっかけとなったモノ、コト、ヒトについて改めて振り返り、今年度からはじめた文化的処方の文脈から災害を乗り越えるヒントをさぐる展覧会。	3月20日-3月31日 (10日間) ※4月1日-6月14日 (65日間／翌年度)	1,140人
合計				34,009人

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1)フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期 間
遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち 関連展示「羽根から探る鳥のふしぎ」	同展の鳥の監修を行った研究者の岡本浩太郎氏による、鳥類の羽毛コレクションと、熊本のフィールドで撮影されたの写真の展示を実施。	11月9日-12月15日 (30日間)

(2)階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期 間
ジュニアヘルパー養成事業 メッセージカード作品展	中学校の生徒たちが高齢者に送ったメッセージカードの展示。熊本市社会福祉協議会が行うジュニアヘルパー養成事業「絵手紙による世代間交流」の紹介。	4月1日-10日 (8日間) ※3月24日-31日 (7日間／前年度)
2025年度大城組の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる、大城先生とその教え子たちによる作品展。	7月5日- 25日 (18日間)
みんなの花まる展	幼稚園生～90代までの老若男女が描いた、“花まる”を展示。	8月1日- 31日 (26日間)
ジュニアヘルパー養成事業「絵手紙による世代間交流」	中学校の生徒たちが高齢者に送ったメッセージカードの展示。熊本市社会福祉協議会が行うジュニアヘルパー養成事業「絵手紙による世代間交流」の紹介。	9月19日-10月10日 (19日間)

農水産物絵画コンクール入賞作品展示会	「熊本市農水産物絵画コンクール」の入選作品展	10月24日- 11月7日 (13日間)
心の輪を広げる体験作文と障がい者週間のポスター展示	熊本県が主催・募集した、障がいのある人に対する理解を促す「障害者週間のポスター」の入賞作品を展示。	11月10日-12月8日 (25日間)
熊本大学附属特別支援学校中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品展	12月13日- 2026年1月8日 (18日間)
令和7年度 ゴッホを探せ！ 絵画コンクール	熊本市北区役所による絵画コンテストの入賞作品展。区の花・ひまわりがテーマ。	2月2日-13日 (10日間)
あおば支援学校小学部・中学部作品展 ～明るくなかよくおらかに～	熊本市立あおば支援学校 小学部・中学部の合同作品展	2月19日-3月18日 (24日間)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか(商店街等)における公演

(1)作品上映会

展覧会名	演題	内容	開催日	参加者
やなせたかし展 人生はよろこばせ ごっこ	上映会「やなせたかし 100年インタ ビュー」(2013年)	やなせたかしのドキュメンタリー番組の上映 会。	5月2日、3日	24人
葉祥栄再訪 熊本展	「くまもと建築ビデオグラフィー」 上映会	九州大学とニューサウスウェルズ大学の 学生たちの共同制作による、熊本県内の建 築をテーマした映像作品などを上映。	1月18日	40人
合計				64人

(2)パフォーマンス

展覧会名	演題	出演	内容	開催日	参加者
やなせたかし展 人生はよろこばせ ごっこ	ミニコンサート： やなせたかしの歌と 絵本の読みがたり	出演：兼武尚美(メ ゾソプラノ)、正源 司有加(ピアノ) 読み手：福居万里 子(RKKアナウン サー)	歌曲集「愛する歌」より「ロマンチストの豚」、 絵本『やさしいライオン』(読みがたり)ほか (こども向けの内容で構成)	5月6日	100人
	やなせたかしの絵本 の読みがたり・詩の 朗読	読み手：福居万里 子(RKKアナウン サー)	絵本『やさしいライオン』、『あんばんまん』、 「手のひらを太陽に」ほか	5月18日	60人
	ミニコンサート： やなせメルヘンの世 界をうたう	出演：兼武尚美(メ ゾソプラノ)、正源 司有加(ピアノ) 聞き手：富澤治子 (当館学芸員)	歌曲集「愛する歌」より「さびしいカシの 木」、バツハ「トッカータとフーガ 二短調」ほ か(大人向けの内容で構成)	6月1日	120人
	やなせたかしの絵本 の読みがたり・詩の 朗読	読み手：福居万里 子(RKKアナウン サー)	絵本『やさしいライオン』、『あんばんまん』、 「手のひらを太陽に」ほか	6月8日	120人
	玄気堂から玄マイナ ちゃんのグリーティ ング	玄マイナちゃん(や なせスタジオ制作 のキャラクター)	玄マイナちゃんとの写真撮影、握手ほか。当 日限定でミュージアムショップでの玄気堂商 品販売。	6月21日	300人
遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち	志娥慶香サウンドト ラック・コンサート	遠山昇司(映画監 督)、志娥慶香(作 曲家)	遠山作品の映画音楽を手掛ける作曲家によ るトークとコンサート。	11月1日	40人
漫画家生活30周年 こうの史代展	こうのさんがライブ ペインティングをす るよ！	こうの史代 (漫画家)	出展作家が展覧会場にて、10m超の大作の 画卷のライブペインティングを実施。	1月5日、2月15日	60人
GⅢ-Vol.163 CAMKコレクション こうの史代セレクトシ ョン	公開制作	藤岡祐機 (アーティスト)	出展作家がオープンスペースにて、切り紙に よる作品制作を実施。	2月14日、15日 3月7日	30人
GⅢ-Vol.164 熊本 地震と文化的処方	公開制作	日比野克彦 (当館館長)	熊本地震の際に避難所でおこなったワーク ショップ(段ボールベッドに番地をつける)を 再現実施。	3月21日	30人
合計					860人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1)アーティスト・トーク

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
和食～日本の自然、 人々の知恵～	アーティストトーク	市原えつこ (メディアアーティ スト)	出品作家によるトーク。	7月20日	35人
GⅢ-Vol.160 新収蔵作品展	アーティストトーク	齋藤陽道(写真 家)、日比野克彦 (当館館長)	出品作家によるトーク。※手話通訳付	7月21日	60人

GⅢ-Vol.161 酒井一吉 幽語の回路	幽語と対話する——AIとともに語る記憶と沈黙	酒井一吉(アーティスト)	出品作家によるトーク。対談の相手に生成AIを用いた。	8月2日	15人
遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち	オープニングトーク	遠山昇司(映画監督)、森賢一(写真家)、岩田正輝(建築家)、楠本智郎、山下弘子(学芸員)	参加作家やアートプロジェクトに関係する学芸員などが創作やプロジェクト運営について語るトーク。	10月5日	30人
	アーティストトーク①	遠山昇司(映画監督)、日比野克彦(当館館長)	出品作家と、当館館長によるギャラリーツアー形式のトーク。	10月12日	60人
	アーティストトーク②	遠山昇司(映画監督)、片岡真実(森美術館館長)	出品作家と、森美術館館長によるトーク。	10月12日	50人
	クロージングギャラリーツアー	遠山昇司(映画監督)	出品作家によるクロージングツアー。	12月14日	40人
GⅢ-vol.162 しまうちみか「茫茫」	アーティストトーク	しまうちみか(アーティスト)	前半はギャラリーツアー形式で、作品について詳しく触れ、後半はALMにて、これまでの活動やいま考えていることについて語るトーク。	10月26日	30人
	[トーク]はじっこから、「世界」を見てみる。～地域の文化にふれて、つくることを考える～	生島国宜(画家、椎葉村森のアーティスト)、森内こゆき(椎葉民俗芸能博物館 山奥学芸員)、しまうちみか(アーティスト)	宮崎県椎葉村に暮らしながら活動するアーティストと地域研究者をゲストに迎え、民俗学的なリサーチと創作活動の関係を探るトーク。	1月11日	50人
漫画家生活30周年 こうの史代展	こうのさんがおはなしするよ！オープニング記念謹賀新年トーク	こうの史代(漫画家)、福永信(展覧会監修者)	出品作家と展覧会監修者によるトーク。	1月4日	50人
	特別トーク こうの史代作品の魅力語る！～二人の大学教授から見た作家性～	村井健太郎(崇城大学教授)、木下裕士(崇城大学准教授)	崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コースの先生で、漫画の描き手である二人が、こうの史代作品・表現の魅力について語るトークイベント。	2月21日	15人
葉祥栄再訪 熊本展	クロストーク「アーカイブズ、展覧会、建築教育」	藤本貴子(建築アーキビスト/法政大学)、川勝真一(建築キュレーター/京都工芸繊維大学)、岩元真明(建築家/九州大学)	建築資料を保存・公開する建築アーカイブズ、建築の価値や魅力を社会に伝える建築展、そして次世代の担い手を育てる建築教育。いずれも、「文化としての建築をいかに次代へ継承するか」という共通の問いを共有して活動する3名の実践者による領域横断的なトーク。	2月22日	35人
第37回熊本市民美術展 熊本アートパレード	審査員講評・トーク	光島貴之(美術家)	選出した作品の講評、アートパレードの審査について感じたこと、光島さんの作品や活動について語るトーク。アトリエみつしまメンバーも登壇。	3月22日	45人
合計					515人

(2)講演会

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ	記念講演会	梯久美子(ノンフィクションライター)	生前のやなせと交流のあった人気のノンフィクションライターによるトーク。	5月24日	100人
和食～日本の自然、人々の知恵～	オープニング記念講演会「和食を植物科学から読み解く」	國府方 吾郎(本展監修/国立科学博物館 植物研究部 多様性解析・保全グループ グループ長)	和食展監修者である植物学者が、植物を和食という切り口で読み解く。	7月19日	34人
	レクチャー「熊本は海苔の聖地:伝統食材としての歩み、熊本における養殖の革新、栄養機能、研究開発、そして次世代への展望」	友寄博子(熊本県立大学 環境共生学部 教授)、嶋田由美子(株式会社有明のり研究所代表取締役)	和食に欠かせない食材であり、有明海の恵みである「海苔」の栄養価や養殖産業への道のりなどについて、栄養科学の研究者・友寄博子氏によるレクチャー。あわせて有明のり研究所代表・嶋田由美子氏が、生産現場の現状について話す。	8月9日	15人
合計					149人

(3)ギャラリー・トーク

展覧会名	講師等	内容	開催日	参加者
GIII vol. 159 米村知倫の仕事	池澤茉莉(京都国立近代美術館任期付研究員)	「CAMK1年生ようこそ!」と題し、熊本市内の小学1年生限定で配布している当館オリジナルカード「1年生ようこそカード」(デザイン:米村知倫)を使って初めてCAMKを訪れる方向けにおこなう館内ツアー。	4月12日、5月5日	3人
やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ	仙波美由記(やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団事務局長、学芸員)	開幕記念ギャラリートーク	4月26日	20人
	富澤治子(学芸員)	担当学芸員によるギャラリーツアー	6月14日、15日	80人
GⅢ-Vol.160 新収蔵作品展	稲垣向日葵(学芸員)	担当学芸員によるギャラリーツアー	7月12日、26日	9人
和食～日本の自然、人々の知恵～	岩崎美千子、里村真理(学芸員)	近くに勤めていても夜まで仕事で美術館に足を運ぶ機会のない中心商店街の方のための閉館後(20時以降)の特別ツアー。	7月24日	34人
遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち	坂本顕子(学芸員)	上通商栄会の「まちゼミ」受講者を対象としたギャラリーツアー。	10月25日	7人
	遠山昇司(映画監督)	出品作家によるクロージングツアー	12月14日	40人
GⅢ-Vol.163 CAMKコレクション こうの史代セレクション	稲垣向日葵(学芸員)	担当学芸員によるギャラリーツアー	2月1日、3月1日	6人
	こうの史代(漫画家)、福永信(展覧会監修者)、稲垣向日葵(学芸員)	「こうのさんと一緒に!はじめてましてCAMKコレクション」と題したツアー。作品セレクト者・キャプション執筆者・学芸員によるおしゃべりを通して、コレクション作品を鑑賞。	2月15日	30人
葉祥栄再訪 熊本展	岩元真明(九州大学葉祥栄アーカイブ)	展示を詳細に語るギャラリートーク。1日に3回開催。	1月18日	90人
	岩元真明(九州大学葉祥栄アーカイブ)	展示を詳細に語るギャラリートーク。1日に2回開催。	2月22日	35人
	司会・解説:岩元真明(九州大学葉祥栄アーカイブ)	「葉デザイン事務所歴代所員によるスペシャル・ギャラリートーク」として、河村嘉和、川津悠嗣、谷口遵の3名の建築家が、葉祥栄氏との仕事について語る。	3月8日	43人
合計				397人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第36回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:森村泰昌(美術家)出品点数:341点 (再掲)	4月1日-13日 (11日間) ※3月16日-31日 (14日間/前年度)	1,793人
第37回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。全盲の美術家・光島貴之氏を審査員に招き、さわって鑑賞する作品、対話して鑑賞する作品の2部門に分けて募集。 審査員:光島貴之(美術家)出品点数:204点 (再掲)	3月22日-31日 (10日間) ※4月1日-5日 (5日間/翌年度)	1,937人
合計			3,730人

オ 他館での企画展事業支援

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第3回漫画エキスポ	フランス・エクサンプロヴァンスで開催される日本文化展内で、バーチャルリアリティ体験エリアの1コンテンツとしてCAMKを紹介、収蔵作品をバーチャルで鑑賞できるコーナーが設けられた。(熊本市政策局総合政策部国際課経由)	5月2日、3日 (2日間)	3,000人
東京藝術大学「芸術未来研究場展」	ひとりひとりのこころを舞台としその色合いが変容し続けるプロセスに価値を見出す展覧会。「熊本版文化的処方箋のいま」を、実施している事業や、今後の計画などについて、パネルや資料インスタレーションによって紹介。	11月21日-30日 (10日間)	6,427人
合計			9,427人

カ 災害復興支援事業

1 無料展覧会・企画展等被災者への復興応援事業

2 被災地の自治体や文化振興を目的とする団体等への寄付

※上記1.2については、令和7年度は実施していない

公益目的事業
公2:美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【令和7年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
1.美術館・文化芸術全般	酒井一吉展
	遠山昇司展
	しまうちみか展
	こうの史代展
	葉祥栄展
	秀島由己男展
	ミナ・ペルホネン展
	鈴木康広展
	熊谷有展、宮井正樹、コーダ・ヨーコ、ソー・ソウエン、梅田哲也、劇団きらら、諫山元貴、比佐水音など九州内各県の作家調査
	3.熊本ならではの文化や歴史
	生人形ほか
	市収蔵作品(ひびのこづえ、田部光子ほか)についての調査研究
	4.市収蔵作品、他館からの借用作品
	和水町所蔵の秀島由己男作品の作品調査

調査研究内容の公表方法	実績
1.展覧会、講演、紀要・論文等	展覧会開催及び図録の発行。講演会等の開催や論文寄稿等による公表
2.情報システム管理によるデータの蓄積、ホームページや館における閲覧の公表	市収蔵作品リスト(1418点)
3.収蔵作品の展示公開／他館への貸出／特別利用	熊本市現代美術館における展示公開(73点) 他館への貸出(3点) 特別利用(熟覧:0点、撮影:0点)
4.館内での閲覧(図書資料等)	ホームギャラリー、アーツスカイギャラリー、キッズサロン(街なか子育てひろば)における閲覧
5.借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供

職員ごとの調査研究内容		実績
日比野克彦	執筆	土木学会誌掲載 対談(日比野克彦館長×星野裕司熊本大学教授×田中尚人熊本大学准教授) 土木×文化的処方 ～ひとり橋の上に立ってから誰かと舟で繰り出すまで～
岩崎千夏	講演	東京藝術大学 芸術未来研究場展特別イベント パネルディスカッション「熊本版文化的処方推進室会議in藝大」 2025年11月25日
		さわやか大学大学院講義「熊本版文化的処方のいま」 2025年12月19日
		トークイベント ひとは、どこで元気になるのか ～文化的処方×生涯学習 まちの公開対話 Vol.0～ 2026年3月13日
	外部委員	公益財団法人熊本県立劇場役員候補者選考委員会委員
		「小さな国十月」監事
		独立行政法人日本芸術文化振興会 美術・メディア芸術等の創造普及活動/文化施設展示活動審査委員
		坂本善三美術館運営協議会委員
		熊本市動植物園マスタープラン推進会議委員
		熊本市立熊本博物館協議会委員
富澤治子	執筆	作品解説「安本亀八 相撲生人形」、「日本美術の鉱脈展」展覧会カタログ、2025年6月21日
		作品解説「安本亀八(3代) 三歳女兒 利子像」、「日本美術の鉱脈展」展覧会カタログ、2025年6月21日
		「生人形は何を「写し」たか、西欧と日本それぞれで見せたものの違い」「鹿島美術研究」年報第42号別冊、2025年11月15日
	発表	「ひびのこづえのダンス・パフォーマンス《ROOT:根》が育つ様子を見守る」、「国際シンポジウム 芸術作品の再起／再帰—身体・装置・指示書」京都大学、2026年3月28日
	講演	「熊本市動植物園・熊本市現代美術館・東海大学農学部合同シンポジウム 生き物と自然に出会うための3つのアプローチ—動物園・絵本・化学 ～ヒサクニヒコ氏を迎えて～」総合討論への登壇、熊本市現代美術館ホームギャラリー、2025年10月18日
坂本顕子	執筆	「秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査」和水町教育委員会、 2024年5月17日-2025年12月20日まで4回実施
		アートが町なかに沸いている——別府の町の現在を歩く『DNP artscape キュレーターズノート』2025年4月15日
		まだ名前のない「善」を探して——芸術祭「小さな国 十月」『DNP artscape キュレーターズノート』2025年9月2日
	寄稿	鳥の目線で俯瞰し切り取る——遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち『DNP artscape キュレーターズノート』2025年11月7日
		「『内なる子ども』と毎日真剣勝負で遊んでいるのではないか」田口Boss&JIJI個展「いまここ、これから」カタログ、田辺画廊、2025年
里村真理	外部委員	「何かを始めるのに、遅すぎるということはない」第8回東勝吉賞公募展『陽はまた昇る』カタログ、日かし勝吉賞実行委員会、2025年
	外部委員	地域創造 地方公立美術館活性化委員会委員
	外部委員	ソー・ソウエン個展「Keep Me Together」(9月11日～10月13日、LURF GALLERY)に寄せたテキスト
	外部委員	VOCA展2026推薦委員
	外部委員	天草市立クリシタン資料館運営委員

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内容		点数等
収蔵作品の整理、保管、貸出	市収蔵作品点数	1,393点
	熊本市現代美術館における展示公開	73点
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	田部光子《人工胎盤》
		安本亀八《相撲生人形》
		安本亀八(3代)《三歳女兒 利子像》
		合計
	特別利用(熟覧・撮影等)	合計
	作品画像貸出件数	田部光子《人工胎盤》
		安本亀八《相撲生人形》
		塔本シスコ《シスコ 牛年》
		塔本シスコ《アザミときじぐるま》
		塔本シスコ《ふるさとの海》
		《花嫁生人形》
		田代順七《阿蘇》
		田代順七《天草》
		坂本善三《環》
		井手宣通《熊本城 桜》
		井手宣通《阿蘇の祭り》
		横尾忠則《熊本・温泉・タンゴ》
		中島千波《一心行の櫻》
		小材啓治《古代賛歌》
		日比野克彦《GRAND PIANO》
		ひびのこづえ《動物の頭》 (うま、ぞう、くま、ひと、さい)
		ひびのこづえ《白いフェルトの服》 (穴、三日月、トゲ、アコーディオン、うろこ)
		三沢厚彦《Animal くまモンオマージュ》
		三沢厚彦《Animal 2008-03》
		中村賢次《野焼きー阿蘇ー》
		横山裕一《山頂》
		元田久治《Indication-Shibuya Center Town》
		山本太郎《四季紅白幔幕図屏風》
		瀧下和之《鬼フィギュアDX》 (青鬼、黄鬼、黒鬼、緑鬼、赤鬼)
		高浜寛『ニユクスの角灯』ー時代を見つめるー ーデジタル着彩原画プリントバナーー
		ミヤザキケンスケ《熊本のカオ》
		坂本夏子《Tiles Signals, quantum painting 001》
		渡邊義紘《恐竜ワールド》
		松本寛庸《サグラダファミリア》
		合計
	作品修復	安本亀八《相撲生人形》
令和7年度 新規作品収蔵	購入	大巻伸嗣《Echoes-INFINITY: Kumamoto(柱)》2009年
		ひびのこづえ「ROOT:根」上演資料(2025年 松本公演、作家撮影による上演記録動画等) 2025年
		合計
	寄贈	安部典子《Mapping Aso Part 1》2022年
		森山裕之《作品No.8》1991年
		森山裕之《無題》1991年
		森山裕之《顔》1994年
		三浦洋一《水辺》1954年
		三浦洋一《玄海 B》1959年
		三浦洋一《花》1960年
		三浦洋一《危うい城》1961年
		三浦洋一《火口原》1964年
		三浦洋一《白昼》1966年
		三浦洋一《堕ちた虹》1968年
		三浦洋一《SPACE YELLOW》1971年
		三浦洋一《MY SPACE》1972年
		三浦洋一《冬の形》1977年
		三浦洋一《青のなかの灰色》1995年
		三浦洋一《原風景》1980年
		合計

令和7年度 新規作品収蔵 (続き)	寄贈	三浦洋一《青の空間》1981年		1点
		三浦洋一《変容》1984年		1点
		三浦洋一《青の形》1985年		1点
		三浦洋一《窓の空間》1989年		1点
		三浦洋一《変位》1991年		1点
		三浦洋一《空間》1993年		1点
		三浦洋一《古式》1993年		1点
		三浦洋一《拡張する空間》1994年		1点
		三浦洋一《古式》1994年		1点
		三浦洋一《構成Ⅰ》1994年		1点
		三浦洋一《空間》1995年		1点
		三浦洋一《空間》1995年		1点
		三浦洋一《作品 95-8》1995年		1点
		三浦洋一《作品95-11》1995年		1点
		宮崎静夫《フライパンのある静物》1956年		1点
		坂口恭平《赤瀬の坂道 #1》 2020年6月22日		1点
		坂口恭平《三角郡浦の交差点》 2020年8月3日		1点
		坂口恭平《日が暮れた高橋》 2020年10月31日		1点
		坂口恭平《松尾の川沿い》 2020年12月7日		1点
		坂口恭平《高橋の橋の下》 2021年6月22日		1点
		坂口恭平《鳩間島の水面》 2022年2月5日		1点
		坂口恭平《畑へ行く途中、金峰山と坪井川》 2022年11月4日		1点
		合計		38点
図書資料管理	図書資料 等の収集	開架用書籍 (絵本、漫画等含む)	201冊	309件
		刊行物	15誌	
		研究書 (展覧会企画等に利用)	83冊	
		映像・音楽資料	10本	
	図書装備	装備	0冊	163冊
		コーティング	163冊	
	図書資料 データ管理	一般図書(絵本、漫画等含む)	32,752件	35,124件
		逐次刊行物	278件	
		映像資料(CD等含む)	2,094件	

公益目的事業

公3:美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業【令和7年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1)ワークショップ

展覧会名	タイトル	出演	内容	開催日	参加者
GⅢ-vol.159 米村知倫の仕事	ロータリーコーヒー	担当学芸員	米村さんがグッズや看板イラストを手掛ける熊本市内の人気コーヒー店がALMに出店。	5月4日、5日	70人
	紙でブローチを作ろう	米村知倫(イラストレーター)	建築を学んだ米村さんにちなみ、建物をモチーフにしたブローチを作成。アクリル絵の具でカラフルに着色したケント紙を切り貼りしてニスを重ねたポップなブローチを作成。	5月10日	11人
	[WT]紙でブローチを作ろう	米村知倫(イラストレーター)	同名のワークショップをいつでも参加できるようにALMに会期中常設。	5月10日-6月22日	—
	CAMK ZINEを作ろう	米村知倫(イラストレーター)	CAMKをテーマに、参加者がそれぞれ制作したページをまとめて、一冊のZINEにするワークショップ。	5月17日	11人
	[WT]CAMK ZINEを作ろう	米村知倫(イラストレーター)	同名のワークショップをいつでも参加できるようにALMに会期中常設。	5月23日-6月8日	41人
	CAMK ZINE販売	米村知倫(イラストレーター)	「[WT]CAMK ZINEを作ろう」に寄せられた参加者のイラストやコメントをまとめて米村さんがZINEを制作し、販売。*参加者には無料で配布。	7月29日～継続中	—
和食～日本の自然、 人々の知恵～	～箸からはじまるわたしの和食～世界に一つだけのマイ箸をつくろう！	大工小屋・甲斐(木工作家)	大工を引退したのち、阿蘇の廃材を活用して数々の木工作品を創作する大工小屋・甲斐さんを講師に迎え、マイ箸づくりワークショップを開催。午前・午後の2回実施。	8月10日	28人
	生産量日本一！牛深の雑節を知って味わうワークショップ	西岡勝太郎(西岡勝次商店 社長)、 天草市産業政策課	和食に欠かせない「だし」を支える牛深の雑節生産者さんのレクチャー、だしの試飲、だしのブレンドワークショップ。2日間、4回開催。	8月23日、24日	61人
	米と豆の旨さを引き出す！和の冒険カレー	カレーの市民(市民グループ)	今や和食となったカレーをもう一度考察してたどり着いたネパールのダルバート(豆とご飯の定食)を、食して話し合うカレーを食べるワークショップ。	9月1日	60人
	からし蓮根づくり体験ワークショップ	有限会社 村上カラシレンコン店	熊本の郷土料理である「からし蓮根」について、歴史を学び、実際に作ってみる体験型のワークショップ。午前・午後の2回実施。	9月6日	19人
	～敬老の日に、心をこめて贈ろう～親子で楽しむ！小学生向け「和菓子づくり体験」	お菓子の香梅	和菓子職人に学びながら、美しく可愛い「練切」に親子でチャレンジするワークショップ。2回開催。	9月15日	42人
	トークセッション「熊本の未来の食を考える」 島袋道浩×発酵レストラン「Aokabi」	島袋道浩(美術家)、 廣岡眞也(Aokabi主宰・料理人)	アートと食を重ねて考える島袋道浩氏と、熊本・上之裏で発酵レストラン「Aokabi」を主宰する料理人・廣岡眞也氏による「熊本の未来の食」を考えるトークセッション。廣岡氏による新しい「熊本の和食」のメニュー試食も。	9月15日	21人
	薦屋書店熊本三年坂 特別企画 読書会 テーマ『美術館で、本と食と。』	薦屋書店熊本三年坂	本の中に登場する、食にまつわる好きなシーン、本の中の食べ物など、あれこれを思い思いに語る会。	9月17日	10人
	1日限りのフンドーダイ Kitchen Open	フンドーダイ商品企画室	創業1869年の熊本の老舗醤油メーカー「フンドーダイ」が生み出した新世代の日本の調味料「透明醤油」を使った透明のメニュー(あんみつ、透明プリン、透明醤油ラーメン)を各30食限定で提供。	9月20日	90人
遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち	[WT]遠山展の折り鶴制作	監修:遠山昇司(映画監督)	遠山昇司展で使用する平和メッセージ入りの折り鶴制作を市民の方に協力していただくワークショップ	8月8日-12月14日	—
	小さな国のスープ	レシピ開発・制作: 杖立温泉米屋別荘(小国町)	出品作家が総合ディレクターを務める芸術祭「小さな国」との連携で、小国町の秋の野菜を使い、同町出身の画家・坂本善三に因んだグレーのスープを作成し提供。	10月5日	25人
	小さな水曜日郵便局	担当学芸員 監修:遠山昇司	知らない人の水曜日の物語が交換されて送られてくる「水曜日郵便局」が美術館の中で限定再開し、参加した人に実際にハガキが送られてくるワークショップ。	10月5日-12月15日	100人
	ワークショップ&トーク 「羽根からさぐる鳥の不思議」	岡本浩太郎(遠山展 鳥監修)	鳥類研究者によるコレクション展示とレクチャー、及び羽毛などに実際にふれる体験を行うサイエンスカフェ。	11月29日	20人
	バードウォッチング「水辺の鳥たち」	岡本浩太郎(遠山展 鳥監修)	江津湖広木公園にて、飛来する鳥などを観察し、鳥類研究者の解説を聞くワークショップ。	12月7日	40人

GⅢ-vol.162 しまうちみか「茫」	ブリコラージュで来訪神の仮面をつくり、自分も来訪神になろう！	しまうちみか(アーティスト)	ダンボールなどの身近な素材で自分の考える来訪神の仮面を制作し、できた仮面をかぶって家族を脅かしてみるワークショップ。	11月8日	11人
	新・来訪神「ひゃーたれ」が年末あなたのおうちにやってくる!!	しまうちみか(アーティスト)	「子育てに来訪神の力を借りたい」家族を募集し、しまうちみかが考案した現代の来訪神行事「ひゃーたれ」が、希望者宅を訪問するワークショップ。ドキュメント映像を作成。	12月30日	33人
漫画家生活30周年 こうの史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、走ってこけて、長い道のり	[WT]「本のこども」を作ろう！	こうの史代(漫画家)	こうの史代による豆本づくり学習漫画『本のこども』をもとに、折り本・無線とじくみ製本の豆本づくりを体験できるALM常設ワークショップ。	1月4日-3月8日	—
	こうのさんの1日漫画寺子屋！	こうの史代(漫画家)	熊本県の民謡「おてもやん」を素材に、漫画の描き方を1日かけて学ぶワークショップ。	2月14日	17人
	こうのさんと壁にラクガキをしよう！	こうの史代(漫画家)	展覧会会場の壁に、マンガ家本人と一緒にこうの史代作品に登場するキャラクターやモチーフをラクガキをするワークショップ。	2月15日	17人
GⅢ-Vol.164 熊本地震と文化的処方	私の心がうごきはじめたとき	文化的処方推進室・田中一平(熊本大学特任講師)	全国から、熊本地震のときに、少し前を向けたなど、心が動きはじめた瞬間の写真やエピソードを募集(78通)。展覧会にすべてのエピソードと写真を展示。	11月1日-2月28日	78人
第37回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	[WT]点字に親しむワークショップ	美術館スタッフ	丸いシールなど身近な材料を使って、点字で自分の名前を描き、点字器の体験もできる、ALM常設ワークショップ。	3月22日-4月5日	—
	鑑賞を開くワークショップ「さわる、はなす、やってみる／Touch, Talk, Try」 ①「さわって、かんじて、おどってみる」	トンデンバヤシナリヒラ(俳優)	市民有志やアーティストとともに、視覚を排し、触って鑑賞する作品を、触覚でトレースし、即興で踊るワークショップ。	3月27日	5人
	同 ②「話して見てみよう」	江口香奈美(市民メンバー)	市民有志がファシリテーターとなり、対話型鑑賞をはじめ体験する参加者と一緒に作品について語るワークショップ。	3月30日	6人
合計					816人

2 美術館ツアー、出張授業等

1)美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	19団体	360人
小学校	53団体	931人
中学校	15団体	299人
高校	20団体	503人
大学	8団体	150人
専門学校	6団体	262人
一般	56団体	755人
合計	177団体	3,260人

(2)視察

団体名	担当課等	内容	開催日	参加者
川口市市議(公明党)	文化政策課	川口市に新設予定のミュージアム活用についての当館活動の聞き取り視察	4月16日	6人
在福岡インド総領事館	—	視察	6月25日	4人
タイ総領事館	—	要人案内のための視察	9月29日	3人
福岡県美術館	—	美術館建設に向けた聞き取り	10月9日	1人
岡山市議会	—	市民美術展の実施状況を含むヒアリング	10月11日	3人
佐世保市	文化政策課	新美術館の整備検討に伴う他都市調査	10月16日	4人
秋田市議会	—	美術館建設計画に伴う他都市調査	11月14日	6人
文化庁	文化政策課	文化芸術創造拠点形成事業(文化的処方)視察	12月13日	4人
アーティストカフェFUKUOKA	—	運営事業者変更に伴う意見交換	12月17日	5人
京都市	政策企画課	行政と連携して開催した、行政の最上位計画である「第8次総合計画」展の聞き取り	1月30日	1人
市川市議会	—	美術館建設計画に伴う他都市調査	2月6日	4人
姫路文学館	—	漫画家生活30周年こうの史代展 および関連ワークショップの視察	2月15日	1人
文部科学省	文化政策課	美術館・文化的処方に関する視察・意見交換	2月27日	2人
文化庁	文化政策課	文化芸術創造拠点形成事業(文化的処方)視察	3月20日	1人
合計				45人

2)美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1)アートバス(展覧会鑑賞)

種別	対象	展覧会	開催日	参加者
鑑賞	北部東小学校 (3年生)	やなせたかし 人生はよろこばせごっこ	6月6日	113人
	黒髪小学校 (1年生)	やなせたかし 人生はよろこばせごっこ	6月18日	64人
	城南小学校 (1年生)	和食 ～日本の自然、人々の知恵～	9月5日	40人
合計				217人

(2)アートプログラム

タイトル	対象	内容	開催日	参加者
素材・造形あそび	平成さくら支援学校 木工班	さまざまな形・材質の木片を用いて、キーホルダーづくりを行った。普段、木工班ではペインティングの機会が少ないことから、筆やスポンジを使ったり、紙コップに浸したりするなど、さまざまな着彩にも挑戦した。 講師:脇田あおい(アーティスト)	11月14日	18人
	城北小学校(1-6年生の希望者)	食品包装用ラップフィルムを用いて、学校の大型遊具を思い思いにラッピングするワークショップ。当日は雨天のため、会場を体育館に変更し、平均台や跳び箱、カラーコーン等をラップした。いつもとは異なる遊具や道具との接し方を子ども自ら発見・体験するとともに、ラップフィルムの素材としての特徴を遊びながら学んだ。 講師:脇田あおい(アーティスト)	12月13日	50人
レインボーマンの虹色大作戦	田迎南小学校(6年生)	アーティスト・レインボー岡山と児童による、学校体育館に虹の世界を作るワークショップ。見慣れた体育館を異化させる、大規模なインスタレーション活動。 講師:レインボー岡山(アーティスト)	1月22日	133人
あしたを運ぶ鳥	サンクスラボ・アフタースクール熊本(小学生、中学生)	さまざまな形の木片から想像をふくらませ、アクリル絵の具を使ってペイントするワークショップ。「自分の中の神様」をテーマとし、好きな生き物や架空の動物などを作った。チェーンをつけてキーホルダーとして仕上げた。講師:コーダヨーコ(イラストレーター)	12月13日	11人
ミニ・ワークショップ	ハグリリンクマモト(主に未就学児とその保護者)	0～7歳児とその保護者を対象に、蛍光絵の具とブラックライトを用いたワークショップを実施。「ゆめのお家をえがこう」をテーマに、黒画用紙にお絵描きを楽しんだ。 講師:坂本顕子(学芸員)	2月8日	52人
合計				264人

(3)出張授業、研究会等

種別	対象	内容	開催日	参加者
出張レクチャー	熊本デザイン専門学校	やなせたかし展について	5月27、28日	150人
出張ワークショップ	熊本市立五福小学校 環境委員(5、6年)	明後日朝顔プロジェクト種まき	5月29日	25人
教育ICTを活用したオンライン学習支援	不登校の小学生・中学生	「フレンドリーオンラインわくわく学習」への協力で、「GⅢ-vol.162しまうちみか「茫茫」」展を中継。	11月19日	80人
R7熊本市教師塾「きらり」第7回研修	熊本市内小学校教諭10名、中学校教諭4名、事務職員1名	「教育×ART ～私があこがれた あの先生～」好きだった先生を絵に描くことで教師になった原点を思い返してみる 講師:日比野館長	1月15日	15人
出張レクチャー	九州ルーテル学院大学	講義「図画工作」のゲスト・ティーチャー枠。教職を目指す学生向けに、熊本市現代美術館の学校連携事業について紹介。	1月27日	50人
ミュージアムIPMについての研修	鹿児島県博物館協会	当館でのミュージアムIPMの活動について	2月19日	14人
出張ワークショップ	親子(小学生と保護者)	熊本市生涯学習課が主催する「チャレンジ!朝顔UFO撮影会」ワークショップ講師。会場は、ヤマガラビレッジ(金峰山自然の家)。	2月23日	25人
合計				359人

(4)その他

種別	連携先	内容	開催日	参加者
職業インタビュー	熊本商業高校	中心商店街で働くことに関するインタビュー	7月17日	4人
ナイストライ(中学生職場体験)	白川中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	7月9日、10日	3人
	出水南中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	10月29日、30日	2人
美術鑑賞アプリ「あとみる」実証実験	SDC(旧佐賀電算センター)	SDCが開発中の美術鑑賞アプリの実証実験に参加。ギャラリーⅠ・Ⅱでの展覧会「和食 ～日本の自然、人々の知恵～」にて、来場者がウェブアプリ「あとみる」を通じて鑑賞や考察を深めていく。	7月19日-9月23日(57日間)	7,100人

博物館実習	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習	8月16日-22日 (6日間)	10人
職場体験(見学)	おおぞら高等学院	通信制高校の職場見学	10月23日	4人
インターン	リヨン美術大学École nationale supérieure des beaux-arts de Lyon(インターン生個人による申請)	学芸員を志す学生に向けた実習	2026年2月18日・20日・23日・25日・26日(5日間)	1人
合計				7,124人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

連携先	タイトル	内容	開催日	参加者
くまもと大邦楽祭実行委員会	「くまもと大邦楽祭2025」プレイベント	6月8日に市民会館シアーズホーム夢ホームで行われる「くまもと大邦楽祭2025」のプレイベントとして開催。箏による演奏会。	4月20日	150人
九州大学芸術工学部、ニューサウスウェールズ大学合同デザインスタジオ	くまもと建築ビデオグラフィー	県内の近現代建築の魅力を市民に伝える映像作品を日豪の大学の学生が共同で制作する合同合宿の活動受入れと、成果発表の会場を提供し、講評に参加。美術館からアートプロジェクトに関するレクチャーも実施。	合宿受入: 8月27日-29日 成果発表: 9月5日	-
九州交響楽団	作曲家の耳 バルトークとストラヴィンスキー～野村誠×九州交響楽団 レクチャーコンサート～	九州交響楽団の熊本公演プレコンサート。耳慣れない作曲家について、作曲家の野村誠による判りやすく楽しいレクチャーと、野村と楽団員による軽やかな音楽を提供。	9月20日	100人
熊本市国際課	大歳芽里×クリコー・クーシアン ライブイベントー黄昏ー	熊本市とエクサンプロヴァンス市の共同プログラム。アーティスト・イン・レジデンス中のクリコー・クーシアンの企画によるライブイベントを開催。	10月8日	70人
STREET ART-PLEX KUMAMOTO 実行委員会	Great Composer Memorial Series	バッハ、シューマン、リストのメモリアル演奏	7月31日	84人
	JAZZ OPEN 2025	中心商店街各所でおこなわれるジャズの祭典。美術館では、藤本直子Trio、豊田隆博Trioの二組が出演。	10月4日	180人
	Great Composer Memorial Series	ショパンのメモリアル演奏	10月17日	59人
	Great Composer Memorial Series	Thelonious Monkの演奏	1月18日	150人
	EXTRAVAGANZA 2026	熊本の中心市街地各所を舞台に、多彩な表現がクロスするイベント。美術館では6組がパフォーマンスを展開。	3月15日	80人
合計				873人

2 フリーペーパーの発行等

内容	詳細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。通年で4回(118-121号)発行。

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築

(1)共催・後援

連携先	タイトル	内容	開催日
水戸芸術館【協力】	「日比野克彦 ひとり橋の上に立ってから、だれかと舟で繰り出すまで」展	展覧会企画制作時に取材協力を行ったため、協力名義表記を承認。	7月19日-10月5日
ヒロ・デザイン専門学校【共催】	「第22回 高校生ファッション画コンテストin九州・沖縄／第10回 中学生ファッション画コンテストinくまもと」	第22回 高校生ファッション画コンテストin九州・沖縄、第10回 中学生ファッション画コンテストinくまもとの審査結果発表、表彰式、受賞作品展示 ※3(4)再掲	10月17日-18日
熊本市動植物園、東海大学農学部【共催】	熊本市動植物園・熊本市現代美術館・東海大学農学部合同シンポジウム 「生き物と自然に出会うための3つのアプローチー動物園・絵本・化学ー～ヒサクニヒコ氏を迎えて～」	熊本市動植物園のサバンナエリアの整備にあたり、絵本作家のヒサクニヒコ氏、市動植物園園長の松本氏、東海大学の伊藤教授が、自然や命について語るトーク。60名の参加。	10月18日
熊本市中心商店街等連合協議会【共催】	台湾映画祭 in Kumamoto 2025	台湾映画を通して台湾の風土や文化を熊本市民が知り、台湾と日本の一層の友好と相互理解の一助となることを目指すイベント。	11月1日-2日
一般社団法人Anchor【共催】	熊本地震から、もうすぐ10年。地域とともにKIOKUをたどるプロジェクト	震災の経験や地域の変化から防災について学び日常の備えや行動につなげることを目的に実施するワークショップとフィールドツアーを実施。	2月21日 (プロジェクト期間:10月-3月)

(2)助言・文化活動支援

連携先	タイトル	内容	開催日
市民(28回)、他施設・団体・学校・企業等(41回)、市各課(51回)	美術館以外の相談・ブレインストーミング等	美術や美術館以外の相談等。まちづくり、障害、生きがい、仕事の方向性や方策等についてのブレインストーミングに異なる立場から参加。芸大・文化顧問関連の協議含む。	のべ120回 参加者のべ210名

熊本市/庁舎周辺まちづくり課、庁舎建設課、脱炭素推進課、動植物園、森の都推進部	日比野館長のご用聞き(文化顧問としての懇談、課題相談等含む)	市役所各課に日比野館長と美術館職員が伺い、各課の課題やモヤモヤに対して柔らかい考え方や異なる角度での対話を行う。市職員自らが新しい視点や前向きな思考に触れることで、課題へのアプローチのヒントを得ることを目的とする。	のべ11回/6課 参加者のべ69名
田中一平(熊本大学特任講師) 熊本大学 熊本市文化政策課 日比野克彦(文化顧問) 他	熊本版文化的処方推進室業務 文化的処方に関するブレインストーミング等	熊本市・東京藝術大学・熊本大学・当財団で熊本版文化的処方の研究開発を進めるため、2025年4月、財団内に「文化的処方推進室」を設置。まだ社会的に認知されていない、新しい概念の価値や意味を考えていくため、答えのないブレインストーミングを、関係者それぞれと実施している。	のべ95回
熊本市文化政策課	熊本市文化顧問業務支援 東京藝術大学プログラム熊本市職員向け研修「Diversity on the Arts」(DOOR)	熊本市文化顧問の業務として、東京藝術大学のプログラム研修DOORを熊本市職員(20名)が受講。年間10回の講義(オンライン)と5回の実践演習の中で、講義は場所の提供及び開催協力、演習は企画や実施協力を行った。 [実践演習]ガイダンス:想い出未満 第1回:相手をよく観察する、クロッキー体験/ 第2回:子ども達の心をここではないどこかへ誘う、防災グッズを使った人形劇/第3回:心に残るモヤモヤを抽象的な形で表してみる/ 第4回:自分にとって心のよりどころになる、心の防災グッズ/第5回:耳で見たものを絵を描いてみる。	ガイダンス:5月23日 講義:6月5日、7月18日、 8月6日、9月11日、 9月25日、10月29日、 11月20日、1月8日、3月5日 実践演習:7月4日、 10月14日、12月12日、 2月5日、3月30日 参加者:20名のべ320名
熊本市文化政策課	「匠の手触り 匠の手触り ～工芸酒器でお酒を楽しむ時間～」	「和食」展とのコラボで、熊本の伝統工芸の器で提供する熊本酵母仕込みのお酒と和食の小料理を、ゆったりと堪能する時間を提供。器や酒器の販売、3名の工芸作家によるトーク、ジャズの生演奏などを行う。	9月12日、13日
熊本市文化政策課	熊本版文化的処方業務支援 文化リンクワーカー育成講座	熊本市が進める熊本版文化的処方の研究開発の一環として、熊本市職員と財団職員を対象とした文化リンクワーカー育成講座を実施。市職員(16名)が受講。年間4回の講義と3回の実践演習に企画段階から実践まで関わった。 [講義]ガイダンス:文化的処方とは(伊藤達矢 東京藝術大学教授)、第1回:きく力(レンタル なんもしない人)、第2回:対話力(春日美由紀 うるとらまりん代表)、第3回:「熊本版」文化的処方とは(日比野克彦、岐阜地域コーディネーター水野友有・濱野かほる) [実践演習]第1回:自分の職場での文化的処方の実践を考えてみる、第2回:いくつかの文化的処方を美術館で実践してみる、第3回:文化的処方のサイクルを考えてみる。	ガイダンス:9月24日 講義:10月23日、11月7日、 12月5日 演習:11月12日、1月14日、 2月6日 参加者:18名のべ126名
熊本市文化政策課	熊本版文化的処方業務支援 対話型鑑賞	熊本市が進める熊本版文化的処方の研究開発の一環として、様々な対象に向けて対話型鑑賞を実施。(ファシリテーター:11月1日アトリップ(林容子)、11月8日・12月13日うるとらまりん(春日美由紀)、9月4日・11月8日・1月16日・2月18日・2月20日(美術館学芸員及び文化的処方推進室スタッフ) [対象] 隈田小学校(6年生) 134名 若年性認知症の方と支援者 4名 ブリッジフォースマイル当事者と支援者 6名 熊本県立大学生 28名 一般公募 5名 熊本高等学校 20名 武蔵野小学校(4年生) 54名 碩台小学校(6年生)28名	9月4日、11月1日、 11月8日、11月22日、 12月13日、1月16日、 2月20日、2月26日 のべ279名
熊本市庁舎周辺まちづくり課	第1回及び第2回 「くまもとまちづくりラボ」協力	市民、民間事業者、地域経済界など、多様な関係者が交流し、熊本市の新庁舎整備を契機とした、現在の市庁舎跡地の利活用や周辺のまちづくりについて意見やアイデアをオープンに交換する場として美術館のアートラボマーケットでワークショップを開催。	11月16日 12月7日 のべ80名
熊本市地域政策課	「市長×地域団体の座談会」協力	大西市長と地域団体の若い皆さんが集まり、「自治会活動で感じている課題」や「工夫していること」をテーマに座談会を実施。	11月19日 20名

一般社団法人熊本県サッカー協会、嘉島町、COSMOS	嘉島×COSMOS「つながるマルシェと防災のひろば」協力	JFA(日本サッカー協会)が全国に展開する防災拠点の「トレーラーハウス」の設置を記念したイベント。子ども達を対象に、防災グッズを使ったワークショップ(防災グッズで絵本のキャラクター制作)を実施。当日の運営には、熊本版DOORのメンバーが参画。	11月30日 10名
坂本善三美術館	坂本善三美術館運営協議会	坂本善三美術館の事業運営に関する意見、助言等。	12月15日
熊本市高齢福祉課	認知症地域支援推進員研修(対話型鑑賞)	各区に所属する認知症地域支援員に対話型鑑賞を体験してもらう。効果や可能性を感じることで、アートによる認知症支援への理解を広げる。	1月7日 6名
	認知症地域支援推進員研修(ものづくりワークショップ)	各区に所属する認知症地域支援員に文化的処方のレクチャーと、簡単なものづくりワークショップを体験してもらう。効果や可能性を感じることで、アートによる認知症支援への理解を広げる。	1月7日 7名
熊本市老人クラブ連合会	熊本市シルバー文化作品展への協力	熊本市シルバー文化作品展への助言・協力(展示、撤収、貸出等)	1月25日-2月1日 (展覧会期)

(3)ネットワーク構築

連携先	タイトル	内容	開催日
県内の文化関係団体と市町村文化協会	熊本県文化協会常任理事会/文化懇話会世話人会・総会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等	4月17日、5月12日
地域創造	地域創造「公立美術館活性化事業企画検討委員会」	全国の中小の地方公立美術館の企画力アップのための巡回展提案・審査・内容等の指導に関わる委員会 ※公2アに再掲	1月26日 3月18日
友の会世話人会 県下美術館	熊本県立美術館 友の会	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営	—

(4)審査・表彰

主催	タイトル	内容	開催日
公益財団法人上下水道サービス公社	令和7年度「下水道いろいろコンクール」	下水道に対する理解と関心を深め、活用と普及を促進するため、日常生活の中で下水道に関する事柄について自由に発想・表現した作品を募集。	9月12日(審査)
ヒロ・デザイン専門学校	田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コンテストin九州・沖縄	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏による、中学生・高校生を対象にしファッション画コンテストの講評。(再掲)	10月18日(講評)
熊本市障がい保健福祉課	令和7年度心の輪を広げる作文・ポスターコンクール	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障害のある人に対する国民の理解と関心を深めること等を目的とした「障害者週間のポスター」審査、講評。	9月12日(審査)
やまがアート実行委員会	やまがアート 若手アーティスト発掘コンペ	こどもたちに本物のアートとの出会いの場を提供するために毎年開かれているやまがアートに新たに新設された若い人材発掘のための審査。	10月12日(審査)
熊本県高等学校文化連盟美術専門部、熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会	第50回熊本県高等学校美術展	熊本県高等学校美術展の特別賞の一つとして「熊本市現代美術館賞」を選定	12月8日(審査) 12月14日(表彰)
宇城市不知火美術館	マナブ間部記念児童絵画作品展	宇城市の小学1年生から6年生までのほぼ全児童と中学1年生から3年生までの生徒(一部)が、図工・美術の授業で書いた作品(約1,000点)の審査、講評。	12月24日(審査) 2月7日(表彰)

(5)まちづくり協力

連携先	タイトル	内容	開催日
上通商栄会 上通アートプロジェクト2025	上通和食プロジェクト スタンプラリー	「和食」展に関連し、上通の和食のお店をめぐるスタンプラリーを実施。 スタンプ設置店:蜂楽饅頭、大文字、お茶の堀野園茶以香、菓舗 まるいわ、加茂川本店 Piccoro Mercato、甘味処鎌倉 熊本城上通店、居酒屋ナポレオン+堤酒店、熊本ラーメンこむらさき、温石惣菜	8月8日-9月23日
	ワークショップ 「にほんちゃ探偵団! ~色・香り・味をみわけよう~」	上通のお茶の堀野園を講師にワークショップ「にほんちゃ探偵団! ~色・香り・味をみわけよう~」を実施。日本茶から見た和食の歴史についてのレクチャー(低年齢層向け)と、実際に様々な種類のお茶を試飲し、好みのお茶を作るブレンドワークショップ。	8月16日

上通商栄会 上通アートプロジェクト 2025 (続き)	ワークショップ「PLAY FARMの農村のごはん体験」	PLAY FARM園長の野村烈氏を講師に実施。土地の風景が地域の味を表現している「和食」のあり方を感じるワークショップとして、PLAY FARMの活動の一つである味噌づくりとお米炊きを体験した。	8月30日
	ワークショップ「Welcome to Tea Ceremony! ~自分で点てる、日本のおもてなし~」(低年齢層向け)	上通のお茶の堀野園を講師に実施。日本茶から見た和食の歴史についてのレクチャー(低年齢層向け)と、茶道の簡単な所作を学び、実際にお抹茶を点てて「自服」を体験した。	8月31日
	名物和食巨大オブジェ展示	上通商店街の名物和食(蜂楽饅頭、大文字のお好み焼き、お茶の堀野園の茶以香かき氷、居酒屋ナポレオンのおでん、熊本ラーメンこむらさきの王様ラーメン)が巨大オブジェとなってアーケードに展示された。オブジェは、崇城大学芸術学部の有志学生が制作。	9月5日-15日
	ワークショップ「Welcome to Tea Ceremony! ~自分で点てる、日本のおもてなし~」(15才以上と外国人むけ)	「上通のお茶の堀野園を講師に実施。日本茶から見た和食の歴史についてのレクチャー(15才以上と外国人むけ)と、茶道の簡単な所作を学び、実際にお抹茶を点てて「自服」を体験した。	9月14日
	ワークショップ「かき氷の食品サンプルをつくろう!」	日本美術サンプル営業所を講師に実施。精密な食品サンプルは、和食文化をユニークな角度から支え、世界から注目されるカルチャーの一つ。その職人技を見学するとともに、かき氷のサンプル作りを体験した。	9月23日
蔦屋書店熊本三年坂	和食展 開催記念読書会「本と食事の素敵な関係」	和食展開催に合わせ、「食事」をテーマにした読書会を実施。5人参加。	8月30日
	ほろ酔い文学Night「和食展 開催記念読書会 本とお酒の素敵な関係」	和食展の開催に合わせ、「お酒」をテーマにした読書会を実施。5人参加。	8月30日
電気館	遠山昇司監督作品 特集上映	遠山昇司展の開催に合わせ、新市街のミニシアター電気館で特集上映を開催。	11月15日-16日
蔦屋書店熊本三年坂	三年坂で、本のお話を。Vol.3【熊本市現代美術館 こうの史代展 開催記念読書会】	この展の開催に合わせ「変わらないこと」がテーマの読書会を書店で実施。6人参加。	3月7日

4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための講演会等

(1)ワークショップ、シンポジウム、講演会等

連携先	タイトル	内容	開催日	参加者
くまもと21の会	文化を処方するシリーズVol.1 市民の力で地域の文化を創る～熊本暮らし人まつり みずあかり～	「みずあかり」の創始者である石原靖也さんが、どのような想いでまつりを立ち上げたのか、文化が人々の暮らしや生き方にどのように作用するのか。まつりに込められた想いや熱意を文化的処方の文脈からひもとくトークセッション。 登壇者：石原靖也(みずあかり創始者) 田中一平(熊本大学特任講師)	5月22日	100人
熊本市 市街地整備課	文化を処方するシリーズVol.2 ウォーカブル×アート～文化的処方であらう、熊本のまちなか～	熊本市中心市街地ウォーカブルビジョンにみんなで行き届くためのキックオフトーク。街の、場所や人の魅力をつなげること、ウォーカブルビジョンや文化的処方の実現は近いのではないかと、それぞれの専門家がそれぞれの立場から語りあうトーク。 登壇者：山下裕子(ひろばニスト) 田中一平(熊本大学特任講師) 田中尚人(熊本大学准教授)	7月7日	100人
熊本市東区 総務企画課	熊本市東区プロジェクト「商店街の美術室」 ワークショップ	ワークショップ 「目をむすぶ、間をむすぶ」(東区職員向け) 「声を見てみる、聞いてみる」(保育園児と保護者向け) 「きおくのはたをたどる」(まちづくりセンター来場者向け)	8月4日 10月15日 2月13日	20人 6組(15人) 15人
土木学会	土木学会 土木×文化的処方	土木とアートという切り口での特別講演。まちの地盤として、まちを支える土木とアートの共通項について語る。 登壇者：日比野克彦(当館館長)	9月10日	500人
古川実季 (アーティスト)	文化を処方するシリーズVol.3 くまもとゆかるトークPart.1	熊本ゆかりのアーティストの軽いトークを、アートラボマーケットでモニター越しに垣間見る、ポッドキャストのようなトークイベント 聞き手：古川実季(アーティスト) 語り手：渡邊菜(アーティスト)	10月9日	2人

熊本市 都市デザイン課	くまもと古町地区社会実験 ロジ・ラボ	「一町一寺」の路地や寺社・町屋跡の駐車場等を活用する実証実験。休日の駐車場をこどもが遊べる場に変身させる、古町地区の社会実験、ロジ・ラボにプレイヤーとして参加。段ボールの切れ端や紙、色鉛筆、カッターやはさみ、鞆ペンなどなど、何を使って何をつくってもOKのワークショップを開催。	10月18日	12人
東京藝術大学	東京藝術大学 芸術未来研究場展特別イベント・パネルディスカッション 「熊本版文化的処方推進室会議in藝大」	東京藝術大学で開催された「芸術未来研究場展」に熊本版文化的処方のブースを出展。全国で文化的処方に取り組んでいる地域の課題を共有するため、日尾野学長をファシリテーターとした岐阜県、愛媛県、熊本市によるパネルディスカッション。財団はオンライン参加。 登壇者：東京藝術大学（日比野学長、伊藤教授、飯崎氏）、熊本市（岡内課長、村上主査、吉田主事）、熊本大学（田中一平氏、高崎氏）、財団（岩崎千・松成）岐阜（水野氏）、愛媛（武田主幹、二宮氏）	11月25日	50人
熊本市 医療対策課	がんサロン in 現代美術館 ここにアートの処方箋	がん患者やそのご家族に対して、病院以外の場所で集いの場を開催。前半は文化的処方について簡単に説明し、簡単なワークショップを実施。後半は制作したものを見せ合いながら、おはなし会を実施。	11月29日	24人
さわやか大学校 大学院	文化を処方するシリーズVol.4 文化を処方するとは？－熊本版文化的処方の現在－	高齢者向けの学びの場、さわやか大学校大学院で、2025年4月に始まった文化的処方について、研究開発の経緯、活動内容などについてレクチャー 登壇者：田中一平熊本大学特任講師、岩崎千	12月19日	130人
熊本県 がん連携サポートセンター	AYA世代のがんサロン	若い世代（15歳～39歳）のがん患者やそのご家族に対して、病院以外の場所で集いの場を開催。 それぞれの経験等のおはなし会を中心としながら、文化的処方について簡単に説明し、心の処方箋等を書いてみることで、心の健康について考えるきっかけを提供した。	3月1日	11人
古川実季 (アーティスト)	文化を処方するシリーズVol.5 くまもとゆかるトークPart.2	熊本ゆかりのアーティスト同士の軽いトークを、アートラボマーケットでモニター越しに垣間見る、ポッドキャストのようなトークイベント。 聞き手：古川実季（アーティスト） 語り手：miyuki（現代美術家）	3月4日	4人
熊本市 生涯学習課	ひとは、どこで元気になるのか ～文化的処方×生涯学習 まちの公開対話 Vol.0～	まちづくり、アート、企業、大学等の現場で「ひと」と向き合ってきた実践者が「ひとはどこで回復し、また動き出すのか」をテーマに市民とともに語りあうトークイベント。 日々の生活や実践の中で生まれる小さな気づきを持ち寄り、文化的処方と生涯学習の可能性を探る 登壇者：櫻井真実、野田順治、田中尚人、小原恵二、岩崎千夏	3月13日	20人
熊本市 くまもと市文化協会	日比野克彦さんと地域文化を語ろう	文化は勝ち負けではない。好き嫌いである。一人ひとりの個性が見えるところが魅力的であり、個性を見つけようとすることは、おもしろさをみつけることである。日常におけるアートの魅力を語る講演会。 登壇者：日比野克彦（当館館長）、西島喜義（市文化協会会長）ファシリテーター：伊勢康之	3月21日	200人
			合計	1,203人

【その他】

種別	対象	内容	開催日	参加者
熊本市文化顧問	熊本市文化政策課	日比野克彦熊本市現代美術館館長に、熊本市の文化顧問を委嘱	4月1日-3月31日	-
担当課との検討会議	熊本市改革プロジェクト推進課文化政策課	熊本市の外郭団体(当財団)の経営についての意見交換	5月8日、23日 3月26日	理事長・事務局長 事務局次長・岡田
所管課との勉強会	熊本市文化政策課	次期指定管理に向けた協議及び意思共有	6月2日 12月8日 2月4日	事務局次長・岡田

(1)理事会、評議員会

種別	内容	開催日
理事会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月6日、3月10日
	理事長・常務理事の選任	6月25日
評議員会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月24日、3月10日

(2)助成金・補助金・支援金等

助成・補助・支援元	名称	対象	金額
日本芸術文化振興会	芸術文化振興基金(舞台芸術・美術等の創造普及活動)	和食 ～日本の自然、人々の知恵～	2,000,000円
地域創造	地域の文化・芸術活動助成事業創造プログラム	遠山昇司展 収蔵庫の鳥たち	8,100,000円
文化庁	地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業		7,821,000円
西日本シティ財団	地域文化助成事業		300,000円
朝日新聞文化財団	芸術活動助成金	米村知倫の仕事	100,000円
花王芸術・科学財団	芸術文化助成	酒井一吉 幽語の回路	200,000円
合計			18,521,000円

(3)職員採用

概要	採用数／応募数
令和8年4月1日採用 正規学芸職員	1人／15人

(4)表彰

賞	概要
なし	